

2024年3月期 第3四半期決算説明会(電話会議) Q&A サマリー

Q:国内の東北、春日井、四日市工場と海外の中国工場の現在の状況

A:2Qから変更はございません。稼働状況に合わせた人員の調整、内製化の推進、手元在庫の効率化などで、工場全体の効率化を進めています。

Q:機器 セグメント利益率 2Qから改善した要因

A:海外子会社の利益が改善されたことが主な要因です。

Q:機器 半導体 市場見通し

A:ロジックは底堅く推移していますが、メモリは依然厳しい状況です。DRAMの回復時期は24年後半、NANDの回復はそれ以降にずれ込む見通しです。中国のレガシーノード向けは堅調に推移しています。

Q:機器 東アジアの4Q需要動向

A:春節の影響もあるものの、3Qより若干上向くと見込んでおります。

Q:自動機 セグメント利益率 3Q実績の捉え方

A:改善による生産性の向上や価格転嫁、セールスマックスの変化などにより、利益率が改善されました。

Q:自動機 来年度の受注見通し

A:リチウムイオン電池製造システムでは多くの引き合いがございます。一方で、薬品包装機と三次元はんだ印刷検査装置では今期ほどのボリュームにはならないと見込んでおります。